

## I. 人を描写する

## 1. Phrases clés

1. Comment est-il ?      Comment est-elle ?
2. Il est petit. Elle est mince.
3. Il a les yeux bleus. Elle a les cheveux courts.
4. Il porte des lunettes. Elle porte une robe bleue.
5. Raoul, c'est le garçon qui vient de sortir.

## &lt;解説&gt;

1. 人の様子を尋ねる問いです。comment は様態を尋ねるときに使う疑問詞です。
2. 体型や見かけの様子を伝えるときには <être + 形容詞>を用います。
3. 「目が青い」「髪が長い」などの身体部分の特徴を伝えるときは、動詞 avoir を用います。 <avoir + 定冠詞 + 身体の部分 + 形容詞>。
4. 身につけているものを伝えるときには、動詞 porter を用います。avoir を使うこともできます。
5. qui は関係代名詞です (→III. 文法の理解)。venir de + *inf.* は「〜したばかり」という表現です (→III. 文法の理解)。

2. Dialogue      *Tempo1*(p.130, p.132)

- Il est comment, Monsieur Lanvin ?
- Il est gros, pas très grand, il a des moustaches et il porte des lunettes.
- \*\*\*\*\*
- C'est qui le frère de Sylvie ?
- C'est le garçon à moustaches qui parle avec la petite blonde à la robe bleue.

(日本語訳)

- ランヴァン氏はどんな方ですか。

- 太っていて、それほど背は高くなく、口ひげをはやして、眼鏡をかけています。

\*\*\*\*\*

- シルヴィーのお兄さん（弟さん）はどなた？

- 口ひげをはやして、青いワンピースの小柄なブロンドの女の子と話している人だよ。

☆言ってみよう

クラスの友達、歌手やタレントを描写してみよう。

## II. 質問をする

### 1. Phrases clés

1. a. Vous êtes étudiant ?  
b. Est-ce que vous êtes étudiant ?  
c. Etes-vous étudiant ?
  
2. a. Vous vous appelez comment ? (Comment vous vous appelez ?)  
b. Comment est-ce que vous vous appelez ?  
c. Comment vous appelez-vous ?

<解説>

1. 同じ内容を3つの異なった形で尋ねています。aは肯定文のイントネーションを変えただけです。bは疑問文であることを表す Est-ce que を文頭においた形です。どちらも口頭でよく用いられます。主語と動詞が倒置されたcは丁寧な会話や書き言葉に多くみられます。
2. 疑問詞がある場合も、3つの異なった形があります (→III 文法の理解)。

### 2. Dialogue *Tempo1*(p.134)

- Vous avez quel âge ?
- 56 ans.
- Vous parlez anglais ?
- Non, mais j'ai fait latin et grec à l'école.
- Vous savez utiliser un ordinateur ?
- Un quoi ?
- Un ordinateur.
- Qu'est-ce que c'est ?
- ...

(日本語訳)

- お歳は？
- 56歳。
- 英語は話せますか？
- いいえ、でもラテン語とギリシャ語は学校で習いました。
- コンピュータを使えますか？
- 何を、ですって？
- コンピュータです。
- それは何ですか？
- ...

☆言ってみよう

相手に住んでいる場所、生まれた場所、好きな物などを3種類の疑問文で尋ねてみよう。

### III. 文法の理解

#### 1. 人称代名詞まとめ

主語	je	tu	il	elle	nous	vous	ils	elles
直接目的補語	me(m')	te(t')	le(l')	la(l')	nous	vous	les	les
間接目的補語	me(m')	te(t')	lui	lui	nous	vous	leur	leur

1. Tu m'attends devant la gare ? — Oui, je t'attends devant la gare.
2. Tu m'appelles ce soir ? — Oui, je t'appelle ce soir.
3. Paul ? Je le connais mais je ne lui parle plus.
4. Caroline ? Je la connais mais je ne lui parle plus.
5. Paul et Caroline, je les connais mais je ne leur parle plus.

Attention! (目的補語代名詞)

1) 直接？ 間接？ ふたつの区別は、動詞が前置詞を介さず目的補語を取る（直接目的補語）のか、前置詞を介して目的補語を取る（間接目的補語）のかによってなされます。

Je connais Marie. (Marie は直接目的補語) -> Je la connais.

Je téléphone à Marie. (à Marie は間接目的補語) -> Je lui téléphone.

2) 代名詞の選び方 目的補語の代名詞を選ぶ際には男性、女性、単数、複数の区別に注意し、置き換える名詞の性と数を反映させます。また三人称の間接目的補語 lui, leur は、常に人を表し、物を表すことはありません。直接目的語 le, la, les は、人も物も表します。

3) 目的補語代名詞の位置 目的補語を表す代名詞は意味的に関係のある動詞の直前におかれます。助動詞などがある場合には注意しましょう。

Je vais vous attendre devant la gare.

Paul va t'appeler ce soir.

Je l'ai vu la semaine dernière.

自立(強勢)形	moi	toi	lui	elle	nous	vous	eux	elles
---------	-----	-----	-----	------	------	------	-----	-------

6. Moi, j'habite à Shonandai. Et toi ? — Moi aussi. Mais Ken, il habite à Yokohama.

**練習問題**

I. Tempo p.136 ex.86

II. Tempo p.136 ex.87

III. Tempo p.156 ex.100

IV. Tempo p.157 ex.104

**2. 関係代名詞**

関係代名詞は、ある名詞を置き換えるとともに、その名詞を修飾する節を導きます。関係代名詞が置き換える名詞を先行詞、その名詞を修飾する節を関係(詞)節といいます。

Georges ? C'est le garçon qui est à côté de Marie.

先行詞

関係(詞)節

<b>qui</b>	先行詞が関係詞節の動詞の主語であることを示す関係代名詞
例	Paul ? C'est le garçon <u>qui parle avec Claudine</u> . 関係代名詞 qui は garçon を置き換え、parle の主語として働いている。
<b>que</b>	先行詞が関係詞節の動詞の直接目的語であることを示す関係代名詞
例	Marie ? C'est quelqu'un <u>que tu connais bien</u> . 関係代名詞 que は quelqu'un を置き換え、tu connais の直接目的語として働いている。

関係代名詞 qui、que はどちらも、人も事物も先行詞にすることができます。

(cf. 疑問代名詞の qui は人、que は事物です。)

**練習問題**

I. Tempo p.136 ex.88 (C'est... que)

II. Tempo p.155 ex.97 (qui)

III. Tempo p.155 ex.98 (qui)

IV. Tempo p.156 ex.101 (qui/que)

V. Tempo p.156 ex.103

### 3. 疑問文の作り方（まとめ）

#### 3-1) 動詞に対する疑問文（oui/non で答える疑問文）

疑問文の作り方には、3種類あります。

- 1) 文末のイントネーションをあげる

*Vous avez des enfants ?*

- 2) 文頭に *Est-ce que* をつける

*Est-ce que vous avez des enfants ?*

- 3) 主語と動詞を倒置する

*Avez-vous des enfants ?*

- a. 主語が代名詞の場合は、主語と動詞を倒置し、ハイフンで繋ぐ。

動詞の三人称単数の活用形が母音字で終わる動詞の場合は、動詞と代名詞の間に *-t-* を挿入する (ex. *a-t-il ? va-t-il ? chante-t-il ?*)

*A-t-il des enfants ? A-t-elle des enfants ?*

- b. 主語が名詞の場合は、名詞の後に、動詞と代名詞の倒置形を置く。

*Pierre a-t-il des enfants ? Marie a-t-elle des enfants ?*

日常会話では、主に 1) と 2) のタイプが使われます。

改まった会話や書き言葉では、3) が使われます。

#### 3-2) 疑問詞のある疑問文

疑問詞のある疑問文も、動詞に対する疑問文と同じく 3種類の作り方があります。

イントネーションを使った疑問文の場合は、疑問詞は原則として文末におきます。

倒置の場合と *est-ce que* を使う場合は、疑問詞を文頭におきます。

*Vous avez acheté votre premier ordinateur quand ?*

*Quand est-ce que vous avez acheté votre premier ordinateur ?*

*Quand avez-vous acheté votre premier ordinateur ?*

疑問詞にはいろいろな種類があります。人と事物で形が異なる物もありますので、気をつけましょう。

疑問詞	文中での役割	日本語訳
qui (qui est-ce qui)	主語 (人)	誰が
qu'est-ce qui	主語 (もの)	何が
qui (qui est-ce que)	直接目的補語 (人)	誰を
que (qu'est-ce que)	直接目的補語 (もの)	何を

quel*	属詞	どれ、何
comment	属詞、状況補語（様態）	どのような、どのようにして
quand	状況補語（時）	いつ
où	状況補語（場所）	どこ
pourquoi	状況補語（理由）	どうして
combien**	状況補語（値段）	いくら

\*quel + 名詞：どんな～、どの～

\*\*combien de + 名詞：どのくらいの～（数量を尋ねる）

### 練習問題

I. Tempo p.135 ex.84

II. Tempo p.135 ex.85

III. Tempo p.154 ex.91

IV. Tempo p.155 ex.94

V. 次の下線部を尋ねる質問文をつくりましょう。

(1) J'ai acheté un ordinateur.

(2) Il est gros.

(3) Il est à côté de Sylvie.

(4) Elle est allée chercher ses grands-parents.

(5) J'ai commencé à apprendre le français il y a un an.

(6) Parce qu'il sympa.

(7) C'est Dominique qui m'a aidé.

(8) J'aime bien le rouge.

#### 4. 現在進行、近接未来、近接過去

現在進行	être en train de	<i>infinitif</i>	～している最中
近接未来	aller		～するところ、するつもり
近接過去	venir de		～したばかり

Roger est en train de discuter avec Marie.

Robert va discuter avec Marie.

Roger vient de discuter avec Marie.

現在進行中の動作を表す場合ふつうは現在形が用いられますが、強調して『○○している最中です』と言いたいときに、être en train de + *inf.* という表現が用いられます。

## 練習問題

- I. フランス語で言って、書いてみましょう。
1. 駅に亜希子を迎えに行くつもりです。
  2. 今来ただっかりです。
  3. いま食事をしているところです。
  4. いまちょうど帰ってきたところです。

<単語リスト>

人を描写するための形容詞（外見、性質）

masculin	féminin	日本語訳
frisé		
mince		
souriant		
jeune		
vieux		
adorable		
agressif		
amusant		
paresseux		
sérieux		
timide		
cultivé		
sensible		
dynamique		

2. 人を描写するための名詞（身につけている物、持ち物）

nom	日本語訳
allure (f.)	
comportement (m.)	
cheveu (m.)	
barbe (f.)	
moustache (f.)	
accessoire (m.)	
boucle d'oreille (f.)	
chapeau (m.)	
cravate (f.)	
blouson (m.)	
jupe (f.)	
parapluie (f.)	



## Grammaire supplémentaire

### 制限的關係節

次のふたつの文を比べてみましょう。

- 1) La fête **qui marque le début de l'été** est la Fête de la Musique.
- 2) La Fête de la Musique **que tout le monde apprécie** a été instaurée en 1982.  
(*Tempo I*, p.127)

1) の文では、太字の關係詞節は先行詞である la Fête を修飾していますが、この修飾部分がなくては、La fête est la Fête de la Musique. となり、何を伝える文なのか、その意味が曖昧になってしまいます。すなわち、この文では、關係詞節が、先行詞 la fête がどんな（どの）祭りを指すのか特定する機能を果たしています。このような關係詞節の用法を制限的用法といいます。

ところが、2) の文では、que 以下の關係詞節を削除しても、La Fête de la musique a été instaurée en 1982. という、文の伝えたい内容ははっきりとわかります。1) の例とは異なり、關係詞節は、先行詞を限定するためではなく、追加情報としての説明を加えるためにつけられています。こちらの用法を非制限的（説明的）といいます。

次の例のように、關係詞節が制限的か、非制限的かをはっきりと示したい場合には、關係詞節をカンマ（virgule）で主節から切り離すこともあります。次のふたつの文の違いは何かでしょうか。

- a. Les étudiants qui travaillent bien réussissent.
- b. Les étudiants, qui travaillent bien, réussissent.